

## 第6学年 社会科学習指導案

1. 日時・場所 令和4年11月

2. 単元名 「近代国家を目ざして」～世界の中の日本～

3. 学校教育目標と社会科で目指す子どもの姿

《省略》

### 4. 単元目標

大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展について世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産に着目し、風刺画や写真、地図や年表などの資料で調べたりしてまとめ我が国の歴史の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとする態度を養う。

### 5. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 世の中の様子、人物の働きなどについて、風刺画や写真、地図や年表などの資料を調べ、必要な情報を集め、読み取り、大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展の様子を理解している。 ② 調べたことを年表や地図などにまとめ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解している。	① 世の中の様子、人物の働きなどに着目して、問いを見出し、大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展について考え表現している。 ② 大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展を関連づけたり、総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。	① 大日本帝国憲法の発布、日清・日露戦争、条約改正、科学の発展について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

### 6. 単元について

#### (1) 教材化について～科学の発展～

子どもたちの実態に応じ、追究の意欲を喚起する教材化を進める。いろいろな事柄を具体的に取り上げ、絵や写真、地図帳などの資料から見つけたことを大切に扱っていく。最終的には、この歴史学習から学んだことを自らのあり方や生き方として考えることができる学習を目指していく。

この単元では、指導要領「大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などを手掛かりに、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことを理解すること。」における「科学の発展」についての教材化を進めた。

「大日本帝国憲法の発布」「日清・日露戦争」「条約改正」「科学の発展」などを取り上げ、我が国の国力が充実し国際的な地位が向上したことを理解できるようにする。その中で、「国力が充実し、国際的な地位が向上したこと」という言葉に注目した。国力とは何か、国際的地位の向上とはどのようなことを表現すればよいのかを子どもたちと考えながら、しっ

かりと理解することを目標に学習を展開する。国力という言葉については、外国とのかかわりを学んでいく上で、聖徳太子が隋に手紙を送ったあたりから意識させ、継続的に使っていた。その国力を考える上で大切にしていけるのは、指導要領に記載してある大日本帝国憲法と日清・日露戦争、条約改正とともに「科学の発展」である。「科学の発展」を世界的な視野で扱っていけば子どもたちが目標に到達できると考えた。そして、この「科学の発展」とともに、いろいろなことが重なり合って「国力が充実し、国際的な地位が向上したこと」に気付ける教材化を進めていく。

## （２）学習過程について～国力と国際的な地位に気付く学習過程～

本単元では、「どのように条約改正を行ったか」ではなく、「どのようにして国力を充実させ、国際的な地位が向上したか」ということに気付くための学習過程を工夫した。どうしても、日清・日露戦争で勝ったことが大きくなり、子どもたちの頭にも武力面、軍事的要素が強くなっていると考えた。そうではなく、大日本帝国憲法の発布日清・日露戦争、そして条約改正、さらに科学の発展という４つの要素があったからこそ、国力を充実し、国際的な地位が向上したことに気付かせていきたい。

自由民権運動の進展、大日本帝国憲法の発布や帝国議会の開設、日清・日露戦争や不平等条約改正の経過、科学の分野で優れた業績を上げた人物について調べ、これらの事象を関連付けて学習を展開していく。明治政府の意図や世の中の様子の変化を考え、前単元で行った学習を生かしながら目標の達成をねらっていく。１つの単元で考えていくのではなく、既習の学習を活用しながら本単元の目標に到達できるような学習過程を行っていく。

## （３）学習活動について～地図や年表、GIGA の活用～

本単元に限らず、歴史学習の中で年表や地図帳の活用をしていく。学習指導要領の（シ）遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。とあるように、地図や年表を使いながら学習を進めている。

年表を見て気付くことや年表にまとめることで整理される思考もあると考えている。本単元では、条約改正の歩みを提示しながら学習問題をたてた。また、人物の業績を整理するためにも年表は効果的にまとめることができると考えている。活用する場面を設定することが大切だと考える。地図においては、歴史学習では資料として使われることは何度かある。その中で地図帳も活用している。例えばザビエルによってキリスト教が伝来したことを地図の資料で提示した。そこから地図帳を使ってルートの確認やザビエル上陸地を見つかったりした。本単元でも日清・日露戦争や野口英世の研究で訪れた国など、地図を活用しながら学習を展開したい。

また、社会科の学習でも GIGA 端末も効果的に活用していく。GIGA 端末を使って、調べる、まとめる、共有するなどの活動が考えられるが、主に資料の提示に活用している。この単元に限らず、写真や想像図をクラスルームやオクリンクに張り付けて、個人でしっかりと資料と向き合わせるために行っている。調べる活動は基本的に教科書と資料集を活用して行っているが、状況と子どもの選択で、GIGA 端末を使って調べる場合もある。いずれにせよ、自分の中で最適な選択をしながら、最適な学びを自己調整させていくことが大切だと考える。

年表や地図、GIGA 端末を活用する中で、子どもの思考・判断・表現する能力の育成を意識したい。そして、いろいろな学習活動を行う中で、子どもたちの学びとともに、情報を整理する力とともに、活用する力を育てていきたいと考える。

#### (4) 指導と評価について～振り返りを生かす～

「子どもたちの実態に応じ、追究の意欲を喚起する教材化を進める。」にあたって振り返りの充実は欠かせないと考えている。その振り返りには①何がわかったか②何ができるようになったか③初めの考えとどう変わったか④学習を通して考えたこと⑤こらからの生活に活かせること⑥感想（気持ち）のどれかを選択して書かせている。これは全教科統一して行っていることなので、歴史学習においては②はなかなか難しいとは思っている。学習内容によっては必要に応じて振り返りの項目を絞ることもある。

その振り返りの記述に対して細やかな見取りをしていく。そして、子どもの頑張りを認めながら学習を展開する。一人ひとりの「自分ならではの」の考えを充実させるためにも、同じ目線で「本音」をあたたかく、きちんと受け止めるようにしている。

ノートには子どもの学びの足跡がたくさんある。友達の考えや意見をすべて聞いて書いている子どももいる。自分なりの学びを認め、それを指導に生かしていき、振り返りで学習内容の定着とともに、どのようなことを思考しているかを見取っていく。ノートにはことで、子どもたちの資質・能力の育成につながると考える。

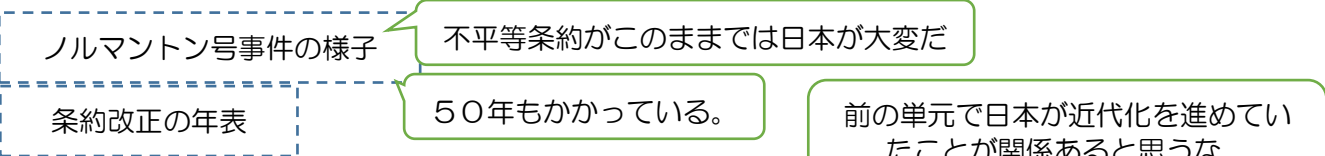
#### (5) 一人一人が生きる社会科学習について～個と全体～

社会科における個別最適な学びと協働的な学びには、個に応じた指導の重視とともに、全員参加の授業を展開していくことが大切だと考える。学習意欲をもち、全体交流を活性化させていくことで主体的・対話的で深い学びの実現に繋がっていくと考えている。

まずは、「今日の社会何やるのかな。」という子どもをつくらないようにしている。学習問題を考え、その解決に向けた学習計画をたて自ら進めていく。受動的な学びではなく、主体的な学びを自分自身で調整していく経験を積み上げてきている。個人の学びと協働的な学びを繰り返し行うことを意識し、クラスでの学びを深めていく。そのために、発問の重視をして、一人ひとりが問題意識や目的意識をもって、教え合い学び合うことができるような発問をする。教師の役割や出番を意識しながらも、クラス全体で考えを交流するときには、子どもたちも自分の出番を考えて発言できるようになってもらいたい。ただし、発言するだけが全てでもないと思う。ノートに友達の意見や考えをずっと書き留めている子どももいる。自分に合った学び方を定着させ、自信をもたせることも大切だと考える。

本単元でも「自分はしっかりと学ぶことができた。」と思える環境づくりを心がけながら、一人一人の学びを把握し、クラスでの学習を全体交流で深められるようなコーディネートをしていきたい。

7. 単元構想図



何かがあって条約改正ができたんだ。外国から見た日本はどのように見られていたのかな。(多角的な見方)

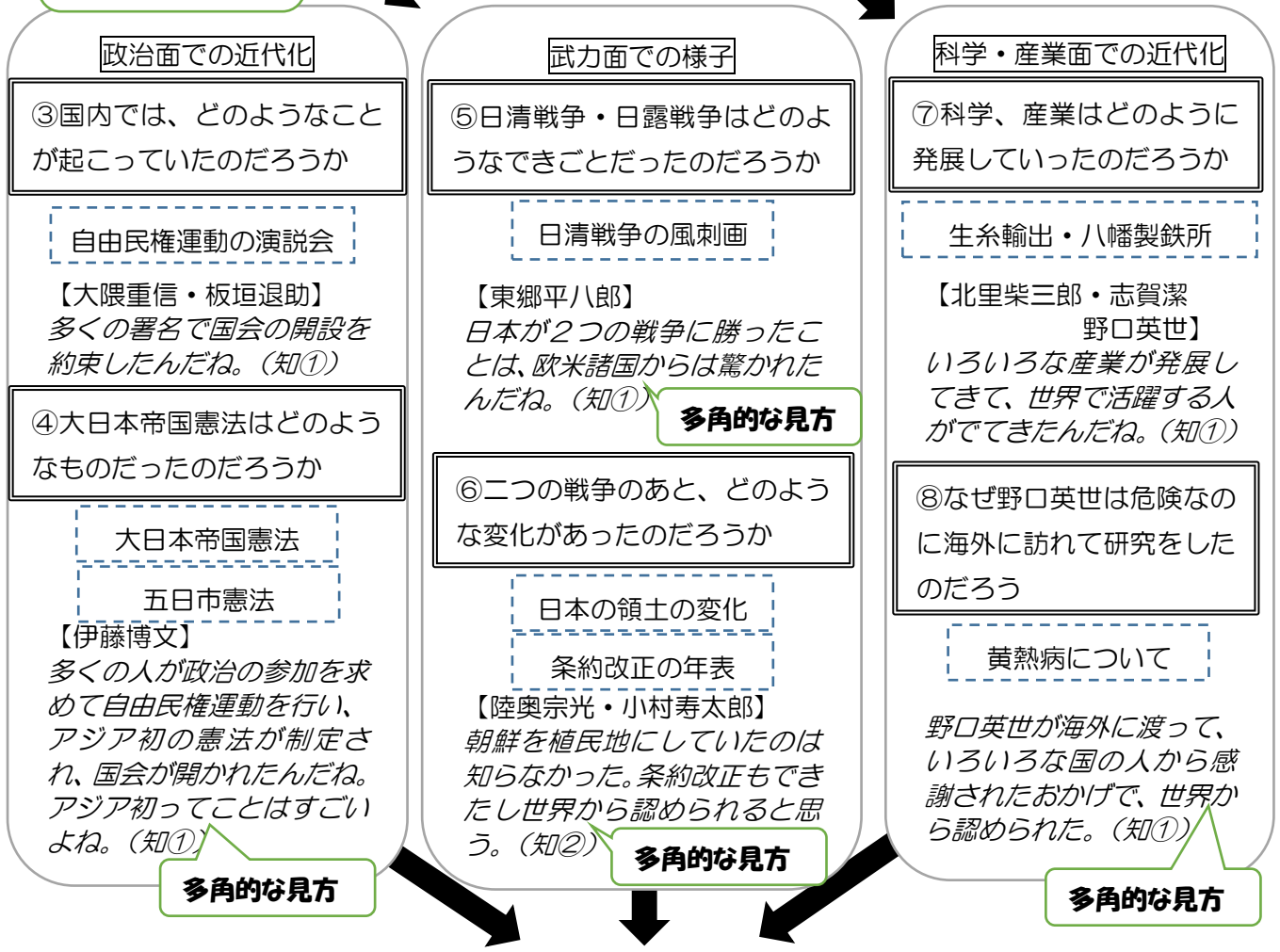
世界から認められるような近代化ができたから!?

② 日本は世界からどのように認められていったのだろうか (思①)

前単元での近代化の様子

国力がどうなったかを考えたい。(多角的な見方)

世界から認められるような近代化ができたから!?



⑨ 日本は世界からどのように認められていったのだろうか

日本は憲法を制定し国会を開いて、国民の参加できる政治のしくみを整え、日清・日露戦争に勝利して力を世界に見せた。そして、念願の条約改正をすることができた。そんな中、世界で活躍する野口英世もいて、世界に認められてきたんだね。近代化が進み、強い国になった背景にはいろいろな人がいたけど、世界に追いつけ追い越せという気持ちが日本を強くした結果、世界に認められていった。(思②)

多角的な見方

## 7. 単元の構想と評価（8時間扱い）

本時のねらい	○主な学習活動	◇主な資料	・評価方法【評価規準】
①② 条約改正の経緯から世界の中の日本に着目し、学習問題を見出し、予想や学習計画を立て、主体的に学習問題を追究し解決しようとするようにする。	○条約改正の聲の高まりと条約改正失敗の原因を考え「日本の国力」と「国際的地位」についての学習問題を作り、年表をもとに学習計画を立てる。	◇ノルマントン号事件の風刺画 ◇不平等条約 ◇条約改正の歩み	・ノートや年表、発言から、日本がどのようにして、条約改正を行ったのかについて、学習問題の解決に向けた予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっている。【態①】 ・ノートや発言から、日本が国力を充実させ国際的地位を向上させたかについて考え、表現している。【知①】
③ 板垣退助・大隈重信らの業績に着目し、自由民権運動の進展などから国内の動きについて分かるようにする。	○大日本国憲法が公布された理由や背景、関係した人物を調べ、理解する。	◇自由民権運動の演説会 ◇民選議院設立の建白書 ◇板垣退助 ◇大隈重信	・ノートや発言から、板垣退助らの業績に着目し、自由民権運動の進展など、国内の動きについて理解している。【知①】
④ 大日本帝国憲法の特徴や、伊藤博文の功績について調べ、日本が近代的な政治のしくみをもった国になったことを分かるようにする。	○大日本国憲法について、どのような特徴があるかを理解する。	◇伊藤博文 ◇大日本帝国憲法と日本国憲法 ◇五日市憲法	・ノートや発言から、大日本帝国憲法の特徴や、伊藤博文の功績について調べ、日本が近代的な政治のしくみをもった国になったことを理解している。【知①】
⑤⑥ 日清・日露の戦争に勝利し、講和条約を結んだことで日本が国土の安全を確保し、国際的な地位を向上させたことを考え、表現するようにする。	○日清・日露戦争や条約改正は、日本と世界にどんな影響を与えたのかを考える。	◇日清戦争の風刺画 ◇戦争の戦費と戦死者 ◇下関条約 ◇ポーツマス条約 ◇日本の領土の変化 ◇東郷平八郎 ◇韓国併合 ◇条約改正の年表 ◇陸奥宗光 ◇小村寿太郎	・ノートや発言から、日清、日露戦争の状況や結果を調べ、日本が2つの戦争でどのような変化があったかを理解する。【知①】 韓国併合や条約改正によって、欧米諸国が日本をどのように見ていたか考えさせることで、日本の国力や国際的地位が向上し、他国との関係性にも変化が生じたことに気づくことができるようにする。【知②】
⑦⑧ 産業が発展し、人々の暮らしが向上したこと、科学の分野で優れた業績を残す人物が表れ、世界的に注目されるようになったことなどを調べ、分かるようにする。	○日本の産業や科学はどのように発展していったのだろうかを考え、国力が充実し国際的な地位がさらに向上したことを理解している。	◇生糸輸出のグラフ ◇八幡製鉄所 ◇足尾銅山の鉱毒事件 ◇北里柴三郎 ◇志賀潔 ◇野口英世	・ノートや発言から、産業の発展、科学の発展に貢献した日本人の存在などによって、我が国の国力が充実し国際的な地位がさらに向上したことを理解している。【知①】
⑨ これまでの学習をまとめ、関連付けたり総合したりして考え、適切に表現し、我が国の国力が充実し国際的な地位が向上したことが分かるようにする。	○日本はどのようにして、国力を充実させ、世界から認められたかをまとめる。	これまでの学習内容の掲示物・ノート	・ノートや発言から、これまでの学習を関連付けたり総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。【思②】

8. 本時（8／9時間）

(1) 目標

野口英世の業績や思いを通して、日本の国際的な地位が向上したことを理解している。

(2) 展開

学習活動	予想される児童の反応	支援と具体の評価規準
<p>前時までの子どもの意識 北里柴三郎、志賀潔や野口英世などの科学面で優秀な人がいることを知る。北里柴三郎と志賀潔は「病原菌の発見」。野口英世は「黄熱病の研究」で終わっていることから「野口英世はどのようなことをしたのだろうか」という学習問題を設定して、資料集で野口英世について調べた。</p>		
<p>1. 野口英世の業績について、個人で調べたことを全体で交流する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">野口英世はどのようなことをしたのだろうか</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黄熱病を研究した。</li> <li>・アメリカでへびの毒についての研究をして世界的に注目された。</li> <li>・研究が評価されて3度もノーベル賞候補になった。</li> <li>・ガーナに「野口記念医学研究所」がある。</li> <li>・たくさんの国に研究所がある。</li> <li>・いろいろな国へ行って研究をした。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">妻と野口英世のやりとり</div>	<p>○野口英世の研究で訪れた国々を地図で表し視覚的に捉えることで、「いろいろな国」がどこにあるのかをきちんと把握させる。</p> <p>○周囲の反対を押し切り海外で研究をしようとする姿から、どのような思いをもっていたかを想像させる。</p>
<p>2. 妻と野口英世のやりとりから、野口英世の思いを考え、交流する。</p>	<p>★なぜ野口英世は黄熱病が危険なのに海外に訪れて研究をしたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分しかできないことをやろうとしている。</li> <li>・黄熱病を直す薬をつくって、人を助けたい。</li> <li>・自分の研究を進めたい。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;">ヒデヨ・ノグチ小学校と野口記念医学研究所</div>	<p>○黄熱病について詳しく伝えた方が野口英世の思いに迫れると判断した場合、補足に説明する。</p>
<p>3. 野口英世が海外からどのように思われていたか、外国の人の視点で考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなところに名前がある。</li> <li>・野口英世の研究は海外の人から感謝されている。</li> <li>・野口英世がエクアドルやガーナの人から認められたんだ。</li> <li>・世界的に認められることをしたんだね。</li> <li>・野口英世がいろいろな国で研究を続けた結果、たくさんの人を救い、エクアドルやガーナの人から感謝された。</li> </ul>	<p>○他の海外の視点をもたせるために、訃報は世界中に記録されたことを伝える。</p>
<p>4. 学習問題について振り返る。</p>	<p>・野口英世は、人を助けたいという思いをもって黄熱病の研究をして多くの人を救った。いろいろな国で活躍することで、外国から認められたと思う。</p>	<p>【知識①】 野口英世の存在によって、日本の国際的な地位がさらに向上したことを理解している。</p>

資料. 「社会のしくみ」と「社会とのかかわり」をつなぐ理解の構造図

